

[illegible]

試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
外 観 試 験	設 置 方 法		分 岐 方 法	—	
			結 線 ・ 接 続	—	
			表 示	—	
			耐 震 措 置	—	
			自家発電装置・制御装置	—	
			配 線	—	
機 能 試 験	接 地 抵 抗 試 験			Ω	
	電機子巻線・主回路		高 圧	MΩ	
			低 圧	MΩ	
	界 磁 巻 線			MΩ	
	制 御 回 路			MΩ	
	制 御 回 路（自動盤）			MΩ	
	充 電 装 置	交 流 側 端 子		MΩ	
		直 流 側 端 子		MΩ	
	蓄 電 池 設 備			MΩ	
	※ 絶 縁 耐 力 試 験			印加電圧	V
	作 動 試 験	※保安装置作動試験	過 電 流 遮 断 器	作動電流値	A
			過 速 度 停 止 装 置	作動回転数	r pm
			断 水 又 は 水 温 上 昇 停 止 装 置 (水 冷 式 機 関)	作動温度	度
			ガ ス 温 度 上 昇 停 止 装 置 (ガ ス タ ー ビ ン)	作動温度	度

③

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○で囲むこと。

3 使用区分の（ ）書きは、共用している設備名を記入すること。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 ※印の試験は、「自家発電設備の基準」（昭和48年消防庁告示第1号）に適合しているものとして、総務大臣又は消防庁長官が登録した登録認定機関の認定を受けた旨の表示が付されているものにあつては、当該設備に係る部分について省略することができる。